

令和3年5月31日発行

No. 13

発行

島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局

赤陵会館内

益田市あけぼの東町13-1

TEL 0856-23-1619

FAX 0856-25-7044

HP http://shoyo.info/



益田翔陽高等学校同窓会

会報

令和3年度 第13回 益田翔陽高校同窓会定例総会

「心をひとつに 未来へ紡ぐ 想いと絆」

同窓会長 矢富邦久



『不撓不屈』  
心をひとつに 未来へ紡ぐ 想いと絆

昨年より、中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症が、全世界に猛威をふるい満延をいたしました。我が国日本も、昨年3月に豪華客船帰航により、ウイルスの拡散が始まり、この一年で全国に感染者が増えました。益田市内でも昨年、今年とクラスターも発生し、患者数も増加するなど、さらなる感染が心配されています。この様な状況となり、あらゆる事業や催し物が、縮小、延期、中止となりました。昨年度は我が母校も例外ではなく体育祭や翔陽祭・課題研究発表会も規模縮小で行われ、日本全国各地の教育機関、学校の臨時休校などが国策で行われた一年でありました。又、世界のスポーツの祭典、東京オリンピックが延期となり令和3年7月開催の予定とされています。感染予防の観点から、慎重な議論がなされ、メディアの報道が連日発信されている年となっております。この様な中、第十三回益田翔陽高校同窓会定例総会を開催予定でありましたがコロナ禍での感染拡大が心配され、残念ながら今年度の同窓会総会を中止となり、総会での議事の内容も書面決議により行うこととなりました。

さて、昨年度より同窓生二六〇〇人余りの会員数を持つこの会の会長となった私ですが、四十五歳の同窓会総会を振り返ってみますと、十六年も年月が経っておりますが、当時は、産業高校、農林高校卒業生で行っていました。私が実行委員長に就任し、先輩方々のアドバイスを受け総会と懇親会を行うことが出来ました。そこで、私が一番に感動した(感じた)ことは、卒業して地方へと別れた同級生との再会でした。二十七年もの歳月が過ぎ同期の容姿も変わり思い出せなく、失礼な事も言ったのではないかと反省を省るしだいです。ですから、この同窓会の定例総会には、懐かしい過去を偲ぶ恩師の先生方との再会、クラブ活動で毎日汗を共に流した同級生、先輩、後輩、下級生との再会が、私にとっては、良き思い出になっています。同窓生の皆さんもこの様な思い出がありと思います。年々歳を取りながら又、来年の同窓会で再会が出来る事を心のなかで待ち望んでいるしだいです。結びに、同窓生の皆様方のご健康と御多幸を祈り、コロナ禍終息後の同窓会定例総会が平常に開催出来ますことを願っております。

Table with columns for (1) 転出者・退職者 and (2) 転入者・新任者, listing names and roles of members.

「不撓不屈」 「強い意志をもって、どんな苦勞や困難にも決して挫けない」 「心がおれないこと 不屈とは、「なにも屈しない」 「決して諦めない」

# 『地域への魅力発信を目指して』

益田翔陽高等学校

校長 佐々岡 節雄



あたたかな春の日差しの中、花の香りがそよ風に運ばれ、身も心も生き生きとしてくるような希望にあふれる輝かしい季節を迎えました。益田翔陽高校同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育活動に對しまして暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この春の人事異動で出雲工業高等学校より赴任いたしました校長の佐々岡節雄です。教員として今まで生徒に教えてきたのは、工業（機械）であり、ものづくりの楽しさや辛さ、できあがったときの喜びや達成感を味わわせることを念頭に生徒に接してきました。このように工業畑を歩んできた私ですが、平成二十三年、矢上高等学校の産業技術科に赴任し、初めて農業に触れる機会ができました。扱う相手が動物植物であるために天候・気温等を考えながら、飼育・栽培を毎日行う、教員・生徒の熱心な姿を目の当たりにしたことを思い出します。平成二十八年、益田翔陽高等学校に教頭として赴任し、やはり専門高校は、各学科ともに答えのない問題を教員・生徒が一体となり、「自ら考え、自ら調べ、自ら作り出す」ことを主眼におき、生徒と共に喜び、

達成感を味わわせることだと実感しております。さて、昨年度来の新型コロナウイルス感染症拡大で、学校行事等を中止せざるを得ず、中でも部活動の大会が中止になり、三年生のモチベーションの低下があったと聞いています。今年度も都市部では「まん延防止等重点措置」が市区町村単位で出され、三度目の「緊急事態宣言」が発令され、各種変異株の流行拡大がニュースに流れています。今後の状況によってはどうなるかわかりませんが、年度当初の予定では、地域の皆様に高評価を得ている「緑の市」や「夕方ふれあい市」「翔陽祭」などの行事を感染防止対策を十分に取り、制限を設けながら実施する計画を立てています。部活動においても各種大会出場、上位大会出場を目指し日々活動を行っています。資格取得では、昨年中止になった資格試験もありましたが、授業内での指導や放課後の補習授業を中心に、生徒の知識・スキルの向上を目指しています。このように、「日々の授業」「地域との連携・交流」「部活動」「資格取得」を4本柱に、我々が今できる感染防止対策「検温」「手指消毒」「マスク着用」「換気」「昼食時のマナー」等を徹底しながら今年度の第一歩を踏み出したところです。四月九日の入学式では、各学科の定員四〇名に対し電子機械科二四名、電

気科一九名、生物環境工学科二八名、総合学科三七名合計一〇八名の新生を迎えました。昨年度の新入生が一四〇名であったことを考えると減少に転じました。昨年度完了した体育館のリフレッシュ工事（床・壁・天井・LED照明）により、式典・集会・授業・部活動等快適に利用できるようになり、充実した施設でよりよい高校生を送ることのできる環境が整ったこと、広大な敷地の中で自分に即した専門的な学習が行えること、地域の方々とのふれ合いの中で「自らの考え」を「自分の口」から「自分の言葉」で伝えることができるコミュニケーション能力等を養えること、など翔陽高校の魅力が様々な形でより一層地域や中学校へ発信・PRをしていく覚悟で努力してまいります。

益田翔陽高校のさらなる飛躍・発展のためには、全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の同窓会の皆様のご支援・ご高配は必要不可欠に存じます。全校生徒三八八名でスタートを切る令和三年度、重ね重ねよろしく願っています。

最後になりましたが、益田翔陽高校同窓生の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

# 縁を感じて

益田翔陽高等学校

教頭 橋本 景子



今年度は校舎の開花が早く、学校施設内の校も四月に赴任したときはすでに葉校となっていました。今は新緑のまぶしい季節となり、農場の田植えの準備も進められています。

私が益田翔陽高校の校舎で勤務するのは、今回で三回目となります。最初の勤務は大学を卒業してすぐ、益田農林高校に一年間勤務しました。そのときは家政科で、女子のみの「家庭一般」と家庭科の専門科目をいくつか担当しました。家庭科の免許をもっているとはいえず、専門的な知識と技術を要するゆかたの製作では、生地の柄合わせがうまくできずに生徒に申し訳なく思っていました。二度目の勤務は平成二十五年から六年間です。最初の勤務では女子のみ履修していた家庭科も男女共修となり、二回目の勤務では、電子機械科・電気科・生物環境工学科・総合学科のすべての生徒に家庭科の授業をすることができました。また、再び被服に関する授業を担当することになりゆかたも製作しましたが、今度自分だけで指導するのではなく、「ものづくりマイスター制度」を利用して、苦手な柄合わせは専門家に教えていただきました。三年生は各学科に関する課題を設定しその課題の解決を図

る「課題研究」を行います。電気工事士の資格を生かして電気器具及び配線の点検・保全作業を行う「電ボラ」、ライントレーサーの模型や卓球マシンの製作、合鴨を活用した有機米の栽培、地域の農業用水路の補修、着物や思い出のある衣服のリメイクなど、毎年各学科の専門性を生かした課題研究に取り組んでいました。そして三回目は教頭としての赴任です。新しい学習指導要領の実施を来年度に控え、社会に開かれた教育課程の実現とともに、各学科の魅力・特色の見える化を求められています。私は、工業、農業の「見方・考え方」を衣食住やヒューマンサービスに活用して地域貢献をすること、それができるとが翔陽高校の魅力なのではないかと考えています。昨年から新型コロナウイルスウィルス感染症により教育活動も制限されていますが、一方でICT機器も整備され、新たな交流や連携も可能になってきました。予測困難な時代を迎える中、地域や人との縁を結ぶことも学校の大切な役割と感じています。今後とも同窓会の皆様の暖かいご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、翔陽会のますますの発展と同窓会員・ご家族の皆様のご健勝をお祈りして赴任の挨拶とさせていただきます。



令和2年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
令和2年 4月8日	19:00~ 準備委員会との打ち合わせ	赤陵会館会議室	7月14日	19:00~ 第2回理事会（総会反省会）	赤陵会館会議室
4月16日	10:00~ 会計監査会	赤陵会館会議室	8月31日	19:00~ 関東支部対策会議	赤陵会館会議室
	19:00~ 役員会（正副会長会）	赤陵会館会議室	令和3年 1月14日	18:30~ 第1回会長代行者会議	赤陵会館会議室
4月27日	19:00~ 選考委員会 辞任・退任に伴う選考委員会	赤陵会館会議室	2月4日	18:30~ 第2回会長代行者会議	翔陽高校体育館
5月18日			2月12日	18:30~ 第2回臨時役員会	赤陵会館会議室
6月2日	19:00~ 定例総会最終打合せ	赤陵会館会議室	2月26日	18:30~ 次期実行委員会との顔合わせ	赤陵会館会議室
6月14日	11:00~ 令和2年度 第12回同窓会定例総会	サンパレス益田	2月28日	11:00~ 第12回 同窓会入会式（125名 入会）	翔陽高校体育館
7月14日	18:00~ 第1回臨時役員会	赤陵会館会議室			

令和2年度 同窓会収支報告書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日まで）

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1) 会費	1,512,000	1,512,000	0	令和2年度卒業生 @12,000×126人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	12	12	0	利息
4) 寄付金収入	0	0		
5) 繰越金	423,381	423,381	0	
収 入 合 計	1,935,393	1,935,393	0	△収入決算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 事業費	955,000	913,797	41,203	
1) 組織強化費	150,000	99,372	50,628	総会開催助成（実行委員会）
2) 総会対策費	0	0	0	
3) 入会記念費	300,000	359,425	△ 59,425	卒業証書ホルダー・同窓会の葉・吊るし看板
4) 会報印刷費	55,000	55,000	0	会報250部
5) 母校助成費	400,000	400,000	0	
6) 慶弔費	50,000	0	50,000	祝儀・香典
7) 寄付金	0	0	0	
2 事務（管理）費	515,000	448,146	66,854	
1) 会議費	25,000	6,989	18,011	正副会長・理事会
2) 役務費	370,000	370,000	0	監査・職員手当
3) 需要費	100,000	71,157	28,843	HPホスティングサービス他
4) 雑費	20,000	0	20,000	
〔(1+2)支出計〕	1,470,000	1,361,943	108,057	
『収支差額』	465,393	573,450	△ 108,057	
3 特定資産取得支出	100,000	0	100,000	
1) 周年事業引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	100,000	0	100,000	
4 予備費支出	365,393	0	365,393	
1) 予備費支出	365,393	0	365,393	
支 出 合 計	1,935,393	1,361,943	573,450	△支出決算増額を示す

収支差引額 573,450	収入額 1,935,393	－	支出額 1,361,943
---------------	---------------	---	---------------

特定資産	3,513,268 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 063177
	1,501,811 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 020869

**令和3年度 事業計画 (案)**

益田翔陽高校同窓会	
本 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総会の開催 (毎年6月)</li> <li>○ 総会開催助成 (45才期当番実行委員会へ)</li> <li>○ 理事会</li> <li>○ 役員会 (正副会長会)</li> <li>○ 会報の発行</li> <li>○ 入会式</li> <li>○ 入会記念品</li> <li>○ 同窓会の栞</li> <li>○ 支部組織強化対策</li> <li>○ 母校助成</li> <li>○ その他</li> </ul>
支 部	○ その他

**令和3年度 同窓会予算書 (案)**

(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1) 会費	1,500,000	1,512,000	12,000	令和3年度卒業生 12,000 円×125 人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	12	12	0	貯金利息等
4) 繰越金	573,450	423,381	△ 150,069	
収 入 合 計	2,073,462	1,935,393	△ 138,069	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費	1,348,000	955,000	△ 393,000	
1) 組織強化費	100,000	150,000	50,000	総会開催助成 (実行委員会)
2) 入会記念費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会栞
3) 会報印刷費	55,000	55,000	0	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔
6) 立替金	443,000		△ 443,000	総会記念品代立替払い 750個
2 事務 (管理) 費	515,000	515,000	0	
1) 会議費	25,000	25,000	0	役員会
2) 役務費	370,000	370,000	0	役職員 (庶務・監査) 手当
3) 需要費	100,000	100,000	0	ホスティングサービス他
4) 雑費	20,000	20,000	0	
〔(1+2) 支出計〕	1,863,000	1,470,000	△ 393,000	
「収支差額」	210,462	465,393	254,931	
3 特定資産取得支出	0	100,000	100,000	
1) 周年行事引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	100,000	100,000	
4 予備費	210,462	365,393	154,931	
1) 予備費	210,462	365,393	154,931	
支 出 合 計	2,073,462	1,935,393	△ 138,069	△は支出予算増額を示す

【特別会計】 令和3年度同窓会定例総会対策費予算書 (案)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
総会対策費	350,000	350,000	0	前年度定例総会実行委員会より
収 入 合 計	350,000	350,000	0	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業費	350,000	350,000	0	R3年度定例総会実行委員会へ
支 出 合 計	350,000	350,000	0	△は支出予算増額を示す

### 令和3年度益田翔陽高等学校 定例総会の書面決議について

島根県立益田翔陽高等学校  
同窓会会長 矢富 邦久

拝啓 時下益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は当会の運営にご理解とご協力をいただき有難うござい  
ます。

さて、島根県内においても新型コロナウイルス感染が連  
日発生し、毎日の日常生活においても影を落とし不便さが  
日々増えています。当益田市においても例外ではなく、い  
つ第3・第4のクラスターが発生してもおかしくない状況  
です。

この状況を考慮し、6月13日開催の定例総会は中止と  
し、書面による議決としました。

つきましては、緊急ではありますが総会提出の資料を同  
封させていただきますので、ご検討の上、ご承認いた  
だきますようお願いいたします。

敬 具

#### I. 議 案

- 第1号議案 令和2年度事業報告
- 第2号議案 令和2年度収支決算報告の承認・監査報告
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)の承認
- 第4号議案 令和3年度収支予算(案)の承認
- 第5号議案 任期満了に伴う役員・理事の退任及び役員・理事の選任(案)

本年度開催予定で準備してきた、令和3年度(第十三回)益田翔陽同窓会定例総会は、益田市内での新型コロナウイルス感染症拡大が危惧されるため、五月二十日(木)に実行委員会と総会担当役員会による開催検討会議を行い、開催中止となった。したがって、総会で予定されていた議事の内容については書面議決を行うことを承認いただいた。

左記のとおりで、令和3年度(第十三回)益田翔陽同窓会定例総会が実施される予定であったが開催中止となった。

**◆基本構想◆**

一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月十三日(日)に開催する。

二、この定例総会は、平成五年度(平成六年三月卒業)の当番期生を主軸に構成する「令和三年定例総会実行委員会」が主催する。

三、総会は、これまでの同窓会で開催されていた「自主・開放・祭り型」形式を継承する。

四、総会開催資金は、総会参加会費収入より調達する。

五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に關する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場

午後の部	午前の部		会場
	一〇時三〇分 一一時〇〇分	一一時三〇分 一二時〇〇分	
新型コロナウイルス感染症予防のため中止	引継ぎ式	定例総会	サンパレス益田

二、総会スローガン  
『不撓不屈』  
(メイン) 『心をひとつに 未来へ紡ぐ 想いと絆』  
(サブ) 『心をひとつに 未来へ紡ぐ 想いと絆』

三、定例総会の参加動員計画  
今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年に引き続き、最少人数で実施

## 令和3年度(第13回) 益田翔陽同窓会定例総会

### 実行委員長



(平成六年 農業土木科卒業)  
中野 純

当番期実行委員長を代表  
し一言ご挨拶を申し上げます。  
令和3年度益田翔陽  
高校同窓会定例総会の開  
催にあたり矢富会長をはじめ本会役員の皆様、  
様々な方たちでお力添えを賜りました関係者  
の皆様には心よりお礼と感謝を申し上げます。  
令和3年度はメインスローガンに「不撓不屈」  
とし、サブスローガンには「心をひとつに  
未来へ紡ぐ 想いと絆」を掲げさせていただきました  
きました。

スローガンに込めた想いの背景には、時代  
が揺れ動く中で、新型コロナウイルスの影響  
により今までの状況とは一変し、先行き不透  
明で不安を抱えている人たちが多く、生活し  
づらい世の中となり、様々な事業や事柄が中  
止や延期という事態になりました。このよう  
な状況の中でも強い意志をもって、幾多の苦  
労や困難に直面しても、くじけず乗り越える  
のだという強い想いで取り組む気持ちを表し  
たものであります。加えて、今日まで諸先輩  
方が心をついに歩まれた同窓会運営や数々の  
出逢い、ご経験を通じて成長と発展を遂げら  
れ継承してこられた想いを受け継ぎ、幾多の  
困難に直面することがあったとしても私たち  
世代が一日一日を積み重ねながら、乗り越え

未来へ紡いでいく役割と願いを込めました。  
ご承知の通り、昨年度は規模縮小での開催  
となり前年の当番期生の皆様の悔しい想いを  
目の当たりにしました。

私たちの時には、前年の当番期生の想いと  
ともにかたちには出来ようとバトンを受け  
継ぎ年に一度の大きな事業であります同窓会  
定例総会の役割をしっかりと担い進める所存  
ではございましたが、全国各地での緊急事態  
宣言の発令、ここ益田においても新型コロナ  
ウイルス感染者の増加などを鑑みて、残念  
ながら今年度は新型コロナウイルス感染症拡大  
防止の観点から苦渋の決断の中、参集での同  
窓会が中止となり、定例総会は書面議決での  
実施となりました。同窓会を築みにされて  
おられた皆様との再会や出逢いが叶わず、事  
業の表彰、喜寿のお祝い、祝賀懇親会が中止  
となり本当に申し訳なく感じております。今  
回、ご案内やご連絡など不行き届き点が数々  
あったと思いますが、この場をお借りし心よ  
りお詫び申し上げます。関係者の皆様からの  
温かい数々のお言葉に力をいただき微力なが  
ら努め進めてまいりましたが、想いと絆を次  
年度へ託していきます。

結びになりますが、母校である益田翔陽高  
等学校の益々のご発展と生徒皆様のさらなる  
ご活躍を願うと共に、同窓会のご繁栄と会員  
皆様、同窓会を通じてお世話になりました関  
係者のご健勝とご多幸をご祈念申し上げご挨拶  
にかえさせていただきます。

誠にありがとうございました。

### ◆令和3年度 益田翔陽高校同窓会◆ 企画調整会議役員名簿

役職名	氏 名	卒 業 科
委員長	中野 純	農業土木科
副委員長	平野 貴志	機 械 科
	佐々木 和美	農業土木科
部 門 長	永戸 博康	農業土木科
	中島 竜也	農業土木科
	平野 貴志	機 械 科
	佐々木 和美	農業土木科
副部門長	倉本 和明	農業土木科
	齋藤 陽一	農業土木科
	広兼 恵子	家 庭 科
事務局長	佐々木 和紀	機 械 科
会計長	前田 伸也	電 気 科
会計次長	渡辺 正弘	機 械 科



# 母校は今...

## 翔陽高校近況報告

電子機械科 中島 大智

(平成28年3月 電子機械科卒)

令和2年4月9日、電子機械科34名、電気科29名、生物環境工学科40名、総合学科学科40名の新入生計143名を迎え、新年度がスタートしました。

令和2年度ではコロナウイルス感染症拡大により、学校行事・部活動・資格試験・課外活動などが思うようにできない年となりました。その中でもなんと学校を盛り上げる事ができないかと工夫し、例年とは違う形として新たな取り組みをし、個人の成長や、学校の為に努めた年となりました。

そして、令和3年3月1日、125名の卒業生が進学・就職とそれぞれの新たな進路へと巣立っていききました。

### ■令和2年度の行事と出来事■

- 【四月】
  - 8日(水) 1学期始業式
  - 9日(木) 入学式・対面式・入寮式
  - 20日(月) コロナにより5月6日まで臨時休業
  - 【五月】
    - 8日(金) 分散登校
    - 25日(月) 臨時休業解除
    - 各部活動 総体中止
  - 【六月】
    - 5日(金) 各種委員会
    - 3年生 課題テスト
    - あいさつ運動(12日まで)
    - 8日(月) 体育館工事開始
    - 10日(水) オンライン合同生徒総会
    - 12日(金) 農業クラブ意見発表校内大会
    - 18日(木) 特別支援教育コーディネーター会
    - 22日(月) 救命救急法講習研修会
    - 25日(木) 期末試験(〜30日)
    - 26日(金) 夕方ふれあい市
    - 【七月】
      - 2日(水) 校内球技大会 中止
      - 10日(金) 学習生活支援講演会(1年生)
      - 16日(木) 寮避難訓練
      - 23日(月) 保護者と生徒との懇談会
      - 26日(日) 寮PTA大掃除
      - 31日(金) 1学期 終業式
      - 【八月】
        - 3日(月) 夕方ふれあい市
        - 6日(火) 体育祭準備開始(3年生)

- 21日(金) 第1回部活動体験
- 24日(月) 2学期始業式
- 26日(水) 面接ガイダンス(3年生)
- 【九月】
  - 4日(金) 体育祭
  - 8日(火) インターシップ(10日)(2年生)
  - 19日(土) 第2回部活動体験
  - 26日(土) オープンスクール
  - 28日(月) 中間試験(〜30日)
  - 【十月】
    - 3日(土) 第3回部活動体験
    - 12日(月) キャリア教育(1年生)
    - 14日(水) 県外研修 延期(2年生)
    - 19日(月) 街頭指導(〜23日)
    - 20日(火) 農業クラブ全国大会
    - 21日(水) PTA体験講話(2年生)
    - 26日(月) 進路ガイダンス(1年生)
    - 【十一月】
      - 4日(水) 校内ロードレース大会 中止
      - 6日(金) 中国地区総合学科学科研究大会
      - 15日(日) 翔陽祭(〜16日)
      - 26日(木) 期末試験(〜12月1日)
      - 【十二月】
        - 1日(火) 寮大掃除
        - 2日(水) 農業クラブ・家庭クラブ合同選挙
        - 3日(木) 夕方ふれあい市
        - 4日(金) 避難訓練
        - 11日(木) A科課題研究発表会
        - 16日(水) 総合学科学科研究発表会(〜17日)
        - 25日(金) 2学期終業式
        - 【一月】
          - 8日(金) 3学期始業式 生徒会
          - 19日(火) 農業クラブ・家庭クラブ合同総会
          - 25日(月) 推薦入試
          - 3年生 課題テスト
          - 1年生(〜29日)
          - 【二月】
            - 1日(月) 電子機械課題研究発表会
            - 2日(火) 電気科課題研究発表会
            - 3日(水) 進路ガイダンス(2年生)
            - 3日(水) 工業基礎学力テスト
            - 5日(金) 課題研究発表会(グラントワ)
            - 16日(火) 3年生を送る会(グラントワ)
            - 24日(火) 学年末試験(〜28日)
            - 28日(日) 同窓会入会式・各種表彰式
            - 卒業式予行練習(3年生)
            - 卒業式(3年生)
            - 【三月】
              - 1日(月) 卒業証書授与式
              - 4日(木) 入学者選抜試験(学科)(面接)
              - 5日(金) 入学者選抜試験(面接)
              - 11日(木) 校内球技大会
              - 24日(水) 3学期終業式・離任式
              - 26日(金) 入学予定者登校日

### 体育祭

9月4日(金) 体育祭・翔陽祭の統一テーマ、君に届ける「必笑宣言」#しよう時間 というスローガンをもとに体育祭が行われました。

今年の体育祭はコロナウイルス感染症拡大の為、例年とは約1ヶ月早めての開催となりましたが、入場制限を設定し3年生保護者のみで、1家族2名までという条件で入場可、また入場してもう前に体温チェックをさせてもらうなど、コロナ対策を十分にした状態での開催となりました。密になる競技種目を無くし、制限のある体育祭となりましたが、生徒達は一生懸命に取り組み姿勢を見せてくれました。3年生は就職試験、進学試験に向けて準備をする忙しい時期の中、短い期間でしたが、当日のためにデコや応援合戦の準備を頑張ってくれました。例年天候に悩まされる体育祭ですが、今年度も天気が悪く、開催することができ、無事に終える事ができました。生徒達は、学科・学年の垣根を越えて一致団結をし、分団カラーを見事に表してくれました。

応援合戦では密にならないように工夫され、できることを誰もが一生懸命に取り組み姿勢がみられ、とてもいい体育祭になりました。

### 翔陽祭

11月15日(日)、16日(月)の2日間に渡り、本校の学園祭である「翔陽祭」が開催されました。今年度は、両日ともに天候に恵まれたものの、コロナウイルス感染症拡大により、例年とは全く違う形で開催となりました。地域の方々を招くことができず、非常に心苦しい形となりましたが、保護者を学年別で、時間帯をわけ、生徒は、加工食品、草花や農産物、苗の販売などを行いました。

前日14日(土) 午後の開会式は、文化委員長長の開会宣言からはじまり、生徒会執行部と校長先生のスタンパラリーイイベントやステージ発表があり、一気に翔陽祭ムードに変わりました。

初日の15日(日)は、例年では翔陽高校伝統のPTAテント村の準備のため、早朝より多くの保護者が集まるところですが、コロナウイルスの影響で中止となり、生徒も食べ物販売は中止と制限された中での翔陽祭となりました。例年以上に各学年・各学科ごとに、展示物を増やし、あらゆる所に工夫をして、生徒全員で楽しめる翔陽祭にしてくれました。生徒会では校舎内を

上手く利用して謎解きスタンパラリーをし、電子機械科ではコインゲーム・ロボットサッカーゲームの展示・イルミネーションや生徒が作ったクラス展示などをし、他の学科の生徒やお子さん連れの保護者さんにも楽しんでもらえ、とても盛り上がりっていました。

電気科ではボクシングロボット・イライラ棒・クレイニングゲームなど遊べるものを中心に展示したり、電気科ならではの物で、自転車発電機など、他の学科の生徒に体験してもらったりと、いろいろな工夫をしてくれました。あちこちから笑い声が聞こえ、いろいろな生徒が楽しんでる様子がたくさん見られました。

生物環境工学科では、農産物の販売をはじめ、草花販売・フラワーアレンジメント・グラウンドゴルフなど販売から遊ぶものまで幅広く準備してもらい、限られた人数ではありましたが多くの人に購入してもらいました。

総合学科学科では翔陽高校の名産品となっているハム・ジャム・味噌・漬け物の販売をはじめ、棒アイス型のオリジナル石けんの販売・保育・オープン・ドリウム・スベリース・アクセサリー製作・昼食時に総合学科学科の生徒が作ったお菓子を全生徒へ配布するなど、いろいろな分野でものすごく盛り上げてくれて、小さいお子さんの笑顔もたくさん見ることができました。

教室棟内では今年、文化系の部活・同好会・保健委員会の各種展示・催し物が開催されました。

例年では午後から体育館にスペシャルゲストを招いて講演会を開くところですが、翔陽祭の時間短縮やコロナウイルスの影響で行う事ができませんでした。

2日目は、生徒会・文化委員会による先声クイズや、弦学部・吹奏楽部による演奏、芸術鑑賞などがグラントワで開催されました。生徒会ステージでは最初に、謎解きスタンパラリーの景品の抽選を行いました。例年にはない企画でしたが、生徒達は、豪華景品が当たるたびにあちこちから歓喜の声が飛び交い、生徒会・文化委員会が中心となって、翔陽祭を盛り上げてくれました。弦学部・吹奏楽部の演奏では、コロナの流行により演奏会、コンクールなどが中止になってしまし、日頃こつこつと練習を頑張ってきた成果を発表する機会がありませんでしたが、この翔陽祭でなんとかその機会を設けることができました。綺麗な音色をグラントワに響かせてくれて、また迫力のある演奏に沢山の人が感動を与え

てくれる演奏で翔陽祭をとても盛り上げてくれました。最後の芸術鑑賞では、吉本興業の芸人3組をお招きすることができました。一組目はメンバーという芸人さんで、なんと2人とも益田市出身で1人は益田工業高校の卒業生でした。二組目は鬼越トマホークという喧嘩ネタで有名な芸人さんが来て下さいました。三組目には超有名芸能人のおかずクラブを呼ぶことが出来ました。たまたまスケジュールが空いていて快く引き受けてくれました。三組目とも面白く、1時間という限られた時間の中で沢山の笑いを頂き、体育祭・翔陽祭統一テーマにふさわしい翔陽祭となりました。

### 課題研究発表会

3年生全学科学科から、それぞれに選ばれた2〜3題の研究テーマの発表を、グラントワ大ホールを会場に毎年2月に開催しています。

今年度も各学科の特色をいかした3年間のまとめに相応しい活動内容の発表を行いました。今年度は、実物展示や演示の内容が多く、より分かりやすい工夫が施されました。今年度は、コロナウイルス流行の関係で、会場に地元企業・一般の方々をお招きすることができませんでしたが、高校生活最後の発表会を無事開催することができ、3年生は今後につながる良い経験となりました。

### 後記

令和3年度108名の生徒が益田翔陽高校16期生として入学してきました。今年度は例年とは少し生徒数が減少してしまいましたが、それを感ぜさせない、入学生の活躍を期待するところです。

コロナウイルス流行により、今年度も様々な学校行事にお招きすることができず、なかなか状況ではありませんが、コロナウイルス感染症予防を徹底し、なんとか同窓生の皆様には、翔陽祭や夕方ふれあい市、みどりの市などにお招きできるような事を尽くしていきたいとお思います。その際には、ぜひ学校の方もお越しいただければと思います。お待ちしています。

今後とも様々な方面でのご協力をお願いすることになります。以上、簡単ではありますが、母校、益田翔陽高校の近況報告とさせていただきます。